

マンホールカード

第9弾!

これまで
第1弾～第8弾
418種 364自治体

第9弾 NEW
2018年12月14日導入
60種 60自治体

シリーズ累計
478種 407自治体

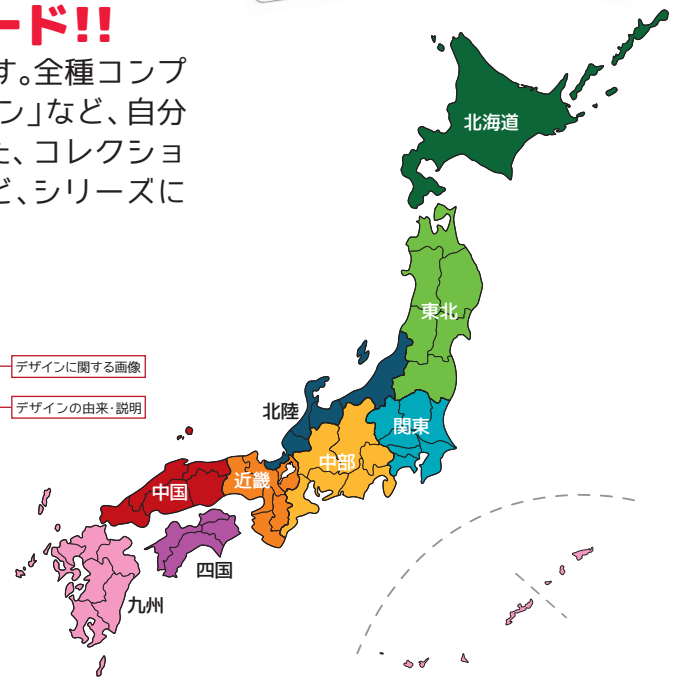
デザイン性あふれるマンホール蓋を
コレクションできる『マンホールカード』に
この冬、新しい仲間たちが加わります。

日本のマンホール蓋は世界に誇れる文化物! 奥深い『楽しさ♪』を1枚に詰め込みました!

日本のマンホール蓋は全国各地デザインが違うご当地モノなのです。その土地に縁のある各所、名物品、スポーツ、キャラクター等が描かれています。まさに日本人の繊細さや丁寧さが生み出した路上の文化物! そのユニークさや美しさに惹かれて訪ね歩くファンが急増する中、ついに世界に誇れる『マンホールカード』がここに誕生!!

集めて『楽しい♪』コレクションカード!!

「マンホールカード」は集める楽しさを大切にしています。全種コンプリートだけでなく、「地域」「都道府県」「市町村」「デザイン」など、自分の好きな集め方を楽しめるように設計しています。また、コレクションする上で欠かせない「材質」「寸法」「彩色」「文章」など、シリーズにおける統一感も大切にしています。



デザイン管理ナンバー
所在地
マンホール蓋のデザイン図
マンホール蓋の写真
設置開始年
ピクトグラム (デザインカテゴリー)
位置座標
配布場所

デザインの由来

デザインに関する画像
デザインの由来・説明

「百代橋」は国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」に架かる草加のシンボル橋です。1986(昭和61)年に完成した知識の大観形歩道橋で、東武スカイツリーライン横浜大学駅<草加松原>駅から東に掛ける松原文化通りをまたぎ、南北に流れる綾瀬川に沿って、国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」をつないでいます。橋名は公募の中から和尾徳恵の「おくのほそ道」原書の「月日は百代の過客にして...」にちなんで名付けられました。「百代」は永遠を意味し、歴史の遺産である「草加松原」を市民の共有財産として未来永く後世に引き継ぐとの意味を含んでいます。

1812-00-001

表面はマンホール蓋の写真と設置されている座標軸、ピクトグラムが入ります。

裏面にはデザインの由来やモチーフ、下水道についての情報等を記載します。

カードベースの色を日本を北海道、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、四国、九州の9つの地域で色分けしています。

「マンホールカード」は無料GETできます!

「マンホールカード」は、下水道関連施設や観光案内所等で無料配布されています。各カードの詳しい配布場所は、GKPのホームページにてご確認ください。



GKP 下水道広報プラットホーム

配布場所は で検索

あなたの街のマンホールや

旅行で訪れたあの街のマンホールや

思い出の街のマンホールが

マンホールカードになりました。